

# まるもり 議会だより

Miyagi Prefecture  
Marumori Town Assembly  
News

第273号



2025. NOV  
令和7年11月1日

発行 宮城県丸森町議会  
編集 議会広報常任委員会



楽しい親子クッキング（丸森たんぽぽこども園）

（表紙のことばとひとことインタビュー … 26ページ）

## 9月議会

仮置場集約に向け動きだす .....	2 ページ
安心安全なまちづくりを .....	4 ページ
まちづくりへの要望 .....	9 ページ
<b>一般質問</b> 11人の議員が町政を問う .....	10 ページ



丸森町公式キャラクター  
ねがみとうぐいすP



# 仮置場集約に向け動きだす

## 9月議会のあらまし

9月議会定例会を、9月2日から16日までの日程で開催しました。

### 主な議決内容

#### ◆令和6年度各種会計決算の認定

#### ◆報告 4件

（決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告ほか）

#### ◆条例の制定 1件

（丸森町にぎわい交流拠点施設の設置及び管理に関する条例）

#### ◆条例の一部改正 4件

（職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正ほか）

#### ◆一般会計ほか6会計の補正予算

審議の結果、町長提案の議案等をすべて原案どおり可決しました。

一般質問は11人の議員が行い、自らの考えを交え町長や教育長に質問するなど、活発な議論を行いました。

議会最終日には令和6年度決算をすべて認定し、決算審査の過程で上がった要望事項を議員発議で町長に提出しました。

また、請願審査の結果報告及び、議員発議による「丸森町議会改革等調査特別委員会」を設置しました。

議決結果の一覧はホームページに掲載しています。



## 条例制定

### 新たなにぎわい交流拠点施設へ

丸森町中心市街地活性化拠点施設（八雄館）の建て替えに伴い、整備後は新たな機能を備えた「丸森町にぎわい交流拠点施設」として管理及び運営を行うための条例を制定しました。

これまでの農林商工業振興の目的に加え、観光交流の推進を行います。

また、別の条例で管理していた「中央通り駐車場」を本施設の一部に加え、にぎわいの創出を一体的に進めていきます。

なお、拠点施設の管理は今後選定される指定管理者が行う予定です。

## 主な補正予算

### 除染廃棄物仮置場集約の用地取得等に8229万5千円

現在町内に点在している仮置場を一カ所に集約するための調査設計業務委託料及び用地取得費の予算を承認しました。

財源は、全額国庫補助金を充てることとしています。仮置場集約に関する業務は、令和11年度完了を目標に進められます。

### 災害復旧費に4530万円

大雨の影響により損傷、損壊した各所の農道や水路等を修繕するための重機借上料、林道小塚線（丸森地区）及び町道嶺線（耕野地区）の修繕を行うための予算を承認しました。修繕工事は順次、進められていきます。



集約を待つ除染廃棄物仮置場（筆雨地区）

## 一般会計歳入歳出決算に少数意見の留保あり

決算審査特別委員会に付託された令和6年度各種会計決算審査結果は認定すべきと決定しましたが、少数意見の留保※がありました。少数意見の内容は、学校給食費において、食材購入の流れと手続きについて、意図的な価格操作や情報漏洩の有無という疑問が生じ、事実確認のため質疑を行いました。納得できる明確な回答や資料の提供が受けられず、疑問解消に至らなかったということです。

採決の結果、賛成多数で委員長報告のとおり認定しました。

採決結果は23ページ。

### ※少数意見の留保とは

委員会の表決の結果、多数を得られず取り上げられなかった意見について、本会議において自ら少数意見として報告する権利を保持しておくことを指します。

## 反対討論

石井 央議員

### 契約の透明性に疑義

食材購入先は2者あり、3月分発注は6品目中5品目が10円の差で一方の業者に発注されており不自然である。食材発注、購入が疑問。公表されるべき資料を議会に提示できないとしたことは、取引の透明性、公正な行政に欠け町民の信頼を損なう行為である。

## 賛成討論

船山 俊一 議員

### 公正会計を評価し決算認定

令和6年度の決算については、厳正に監査され、予算が適正に執行されたと認定されている。また、町の会計処理が公正に行われることは、町民の信頼と安心を支える基盤であり、暮らしを守るとともに、これからのまちづくりを進めるための土台となる。

この観点から賛成する。

## 請願審査の結果 不採択

### 旧和田分校児童生徒の通学状況改善を求める請願書

請願者 山野辺 貴寛

武藤 秀樹

紹介議員 八巻 眞由

【要旨】旧和田分校区は46年前の和田分校閉校時に定められた通学体系が現在も続いており、生徒児童と保護者の多くは子どもたちの通学に課題を抱えている。子どもたちの安心安全な通学体制の整備を求める。

【委員会意見】安心安全な通学環境の整備は重要な課題であるが、町内には同様の通学課題を抱えた地域もあり、一部地域のみの通学状況改善は公平性を欠く。通学支援の在り方は町全体の課題として検証と改善が求められるため不採択と委員長報告がありました。

採決結果は23ページ。

## 反対討論

八巻 眞由 議員

### 公平性の担保は誰の仕事か

本町で通学課題があるのは2地域だが、本請願を採択することで、2地域間の不均衡を生まないため不採択とされた。便利な地域に合わせ課題を解消するのが本来の公平性であり、それは行政と議会の役割である。不採択とすることは両地域にとって改善の道そのものを断つことと同義である。

石井 央議員

### 住民意思を実現すべき

通学課題の解決は、町が宅地造成した上滝地区を中心とした住民が、子育て環境の早急な改善を求めているものである。行政に変化を求めていくときには、全てにわたって公平性を担保することは困難である。今、求められている住民の意思を行政に求めていくのが議会の役割と考える。

## 賛成討論

鈴木 美智子 議員

### 請願書は適切ではない

請願は子どもたちの安心安全な通学体制の整備を求めている。猪や熊など害獣が頻出し安心安全でないところがあるが事実を確認できない。改善策のスクールバス新設に加え町民バス継続は補助拡大であり安心安全対策ではない。全保護者の意向がわからずに請願をまとめるのは適切ではない。

### 丸森町議会改革等調査特別委員会を設置

丸森町議会基本条例の見直しや、議員定数及び議員報酬について調査するため「丸森町議会改革等調査特別委員会」を議員発議で設置しました。

委員会は、議長を除く議員全員で構成し、委員長に金森裕之議員、副委員長に中津川かおり議員を選任しました。



# 安心安全なまちづくりを

令和6年度決算認定に関連した総括質疑の中から取り上げました

総括質疑とは、町の方針や決算全般に関して質疑するものです

## 集落支援員の業務は

問 支援員の業務内容が分かりづらいとの声がある。地域の中で、どのような仕事をしているのか。

答 支援員は地域の困りごと等を住民自治組織と町に繋ぐ役割がある。支援員について十分浸透していないので住民に周知していく。

## 情報社会への対応は

問 ホームページやSNS等への発信が活発になるほど、誤情報の拡散や炎上等のリスクも伴う。どのように対策をとるのか。

答 町でもフェイスブックやLINE等で情報発信を拡大しているが、リスク管理の具体策はまだ庁舎内で明文化されていない。今後検討し整理していく。



地域の課題解決に向け、定期的に行われている集落支援員同士の情報交換会

## 熊の被害防止は

問 熊の目撃情報が増えていくが、対応状況は。

答 目撃情報があり次第、できるだけ早く情報を周知し、注意喚起している。

令和7年9月から法改正により、町長判断で市街地での猟銃を使用した駆除が可能となったため、駆除隊とも協議を進めながら人的被害の防止に努める。



緊急時に設置される熊捕獲用檻

## 介護に外国人の受け入れは

問 介護事業所では外国人を採用している所もある。町として必要性をどう認識しているのか。

答 慢性的な人材不足は否めない。各施設でも外国人材を受け入れる意識は高い。地域包括ケア推進会議でも話し合いをしている。県の支援も利用し連携を取りながら進めていく。

## 今後の病院経営は

問 丸森病院の経営状況と今後の経営改善をどう進めるのか。

答 全国的にも自治体病院は86%が赤字経営であり、丸森病院も一般会計からの繰り入れは5億3000万円である。

経営コンサルタントに業務委託し、今後の方向性の検討に入っている。

## 観光交流人口の増加は

問 令和6年度の観光客数は減っているが、今後どのように増やしていくのか。

答 本町には直売所や舟下り、キャンプ場等がある。指定管理者との情報共有や、観光関係者と連携しながら、MIZBEステーションが観光のゲートウェイとなり町内の周遊により観光交流人口増加を図っていく。

## 防災訓練をどう活かす

問 宮城県9・1総合防災訓練に向けてどのように取り組むのか。今後の対応はどうしていくのか。

答 令和6年度は南三陸町での訓練視察後、関係会議を行った。令和7年度は本町で開催され、78機関1400名が参加し、600名の見学者があった。各防災機関や企業との連携を町の防災対策に活かしていく。

## 不登校への寄り添いは

問 学校に通うことが難しい子どもたちへ、どのように寄り添い対応しているか。

答 学校復帰だけを目標とするのではなく、子どもたちの社会的自立を目指すという考え方が令和元年に国から示された。学校復帰を強制せず、本人の目標や希望の実現のために何が必要かを重視して対応している。



あらゆる災害に備え大規模に開催された防災訓練(町民グラウンド)

## 宮城県9・1総合防災訓練インタビュー

深山行政運営推進委員



郡司 芳雄さん

町民グラウンドでの災害を想定した訓練は大災害の恐ろしさを改めて痛感させられた。地域の方々とともに自主防災組織の運営に力を注ぎたい。

女性防火防災クラブ  
筆甫地区副会長



宗片 節子さん

炊き出し訓練は丸森連合会長の段取りで40人で270食のカレーが40分でできました。実際の災害でも慌てず作れると思います。



# 証 検 決算審査

決算審査特別委員会

会期中4日間にわたり、町長、副町長、教育長及び担当課長等の出席を求め、令和6年度の決算審査を行いました。質疑の一部を要約してお知らせします。

民俗芸能の伝承は

問 民俗芸能団体は何団体あるのか。予算を増額するなど保存伝承の取り組みは。答 県指定が1団体で町指

定が8団体ある。

衣装の購入等にお金がかかるので増額の相談があり、民間の補助金を紹介した。保存伝承や予算について各団体と協議していく。



民俗芸能の保存伝承には後継者育成が課題  
(伝統芸能発表会)

健康診断の状況は

問 丸森病院で健康診断を受ける丸森病院の収益になる。どんな状況か。

答 結核の定期健康診断の受診者は1513人だった。令和7年から胃カメラによる胃がん検診もできるようになった。

合併70周年記念事業は

問 上海地区宅地分譲地2区画の販売が1区画になったのはなぜか。

答 2区画とも申し込みがあったが、都合により3年以内に家を建てるのが難しく、1件が辞退になったためである。

官民連携の観光振興は

問 地域活性化起業人活用事業の効果はどのようなものか。

答 (一財) 丸森町観光物



販売中の丸森町公式キャラクターグッズ

学力調査の結果は

問 小中学校の学力調査結果はどうだったのか。答 町で行っている学力調査では、本町児童生徒の学

力は、ほぼ満点と平均点以下の2極化となっている。

2極化をどう埋めるかが課題であり改善を図る。



予習習慣の定着で学力の向上を (町営学習塾)

マイナンバーカードは

問 マイナンバーカードの普及率はどれほどか。郵便局での申請サポートはどれくらいあったのか。

答 普及率は80・8%で、郵便局全体で377件の申請があった。

特に高齢者へ申請の周知を図り、普及率100%を目指したい。

ふるさと納税額は

問 ふるさと応援寄付金の個人版と企業版の合計が、令和5年度より約8769万円減となったのはなぜか。答 PRが少なかったと考

えている。  
7年度は個人版の返礼品として米の提供や現地決済の際にその場で使用できる宿泊と食事のクーポン発行を検討する。  
企業版は情報発信と営業の強化を検討する。

農産物の放射性物質検査は

問 タケノコは何本くらい検査に持ち込まれ、基準値を超えたものは、どれくらいあったか。

答 約3万9000本で、そのうち約3・7%にあたる1400本が基準値を超えた。  
要因としては、山林の除染を行っていないためと推測する。



安全なタケノコを皆さんに届けます タケノコ初出荷セレモニー (耕野地区)



# まちづくりへの要望

所管事務調査、決算審査を通じ、各常任委員会から出された要望事項を取りまとめ、議会として9項目を町長に要望しました。



阿武隈急行丸森駅からモダン橋を経て街中へのウォーキングコース  
(百々石公園より望む)

トレッキングで  
まち活性化を

- 来町者が四季を通じて丸森の自然、歴史、食を満喫できるような観光トレッキングコース等の充実とオルレ丸森コースの認定に向け取り組むこと。
- 町税や使用料の確実な徴収に努め、収入未済額の縮減を図ること。また、納税貯蓄組合の役割も大きいことから、継続的に支援すること。
- 仮置場等に保管されている除去土壌の集約場所予定地が示された。集約業務がスケジュールどおりに実施できるよう、早期に住民へ周知し事業推進に努めること。
- 集落支援員の果たす役割は大きい。地域の課題解決に向け、町と住民自治組織が一体となり、集落支援員の更なるスキルアップを図ること。
- 丸森町空家等対策計画に基づき、特定空家等への対策に努め、住民の生活環境の保全を図ること。
- 丸森病院は、全身を診る医療等の強みを活かし、利用者の満足度を上げ、選ばれる病院となるよう努めること。
- 農地基盤整備（圃場整備）への取り組みは、早期完了を目指すとともに耕作者負担金の軽減を図り、農業の持続的発展に努めること。
- 道路改良工事及び無電柱化等工事については、速やかに完了させ、町民生活の利便性の向上を図ること。
- 不登校児童生徒が依然として多い。児童生徒一人ひとりに応じた支援を継続するとともに、保護者同士の交流など、新たな取り組みを進め、保護者の不安解消に努めること。

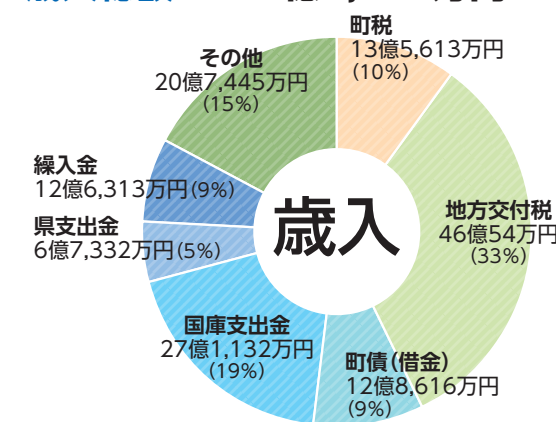
# 令和6年度 決算を認定

## 決算の審議結果

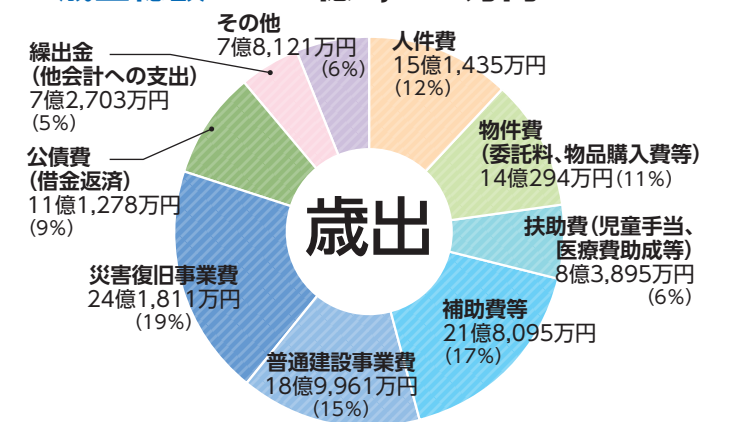
町長から提案された令和6年度歳入歳出決算の認定（一般会計、国民健康保険特別会計など5つの特別会計、丸森町病院事業会計、丸森町水道事業会計、丸森町下水道事業会計の計9件）は、決算審査特別委員会において詳細に審査を行い、本会議で採決の結果、いずれの決算も認定しました。

## 一般会計決算はこうなりました

歳入総額 139億6,505万円



歳出総額 128億7,593万円



歳入歳出差引額 10億8,912万円

令和7年度事業への繰越金 1億6,358万円(使途が決まっている繰越金)  
財政調整基金へ積立金 4億7,000万円(財源を調整するための積立金)  
令和7年度への純繰越金 4億5,554万円

## 前年度との決算額の比較(歳出)

会計名	令和6年度	令和5年度	伸び率
一般会計	128億7,593万円	160億6,736万円	▲19.9%
国民健康保険	16億3,182万円	17億8,616万円	▲8.6%
後期高齢者医療	1億9,567万円	1億8,011万円	8.6%
介護保険	19億1,520万円	20億2,210万円	▲5.3%
宅地造成事業	31万円	180万円	▲82.8%
工場団地造成事業	6,607万円	2,012万円	228.4%
小計	38億907万円	40億1,029万円	▲5.0%
計	166億8,500万円	200億7,765万円	▲16.9%

病院事業会計			
収益的支出	11億5,728万円	11億3,035万円	2.4%
資本的支出	13億5,202万円	2億5,117万円	438.3%
水道事業会計			
収益的支出	3億6,158万円	3億5,939万円	0.6%
資本的支出	3億1,077万円	2億4,025万円	29.4%
下水道事業会計			
収益的支出	4億12万円	3億7,397万円	7.0%
資本的支出	11億4,608万円	15億8,369万円	▲27.6%

※収益的支出とは、人件費や材料費など業務運営に係る支出

※資本的支出とは、工事費や過去の建設工事のために借り入れたお金の返済など財産に係る支出





いしひさ 石井 央 議員



一般質問動画

# 良好で活力ある農村に

## 町長 農地整備と新規就農進める

問① 竹谷、羽入地区の農地整備事業の促進や、あぶくま川水系角田地区土地改良区管理農地の再整備と拡大への取り組みは。

答① 県の農地整備に係る予算確保は大変厳しいが、農林水産省の令和8年度概算

米価の高騰、品薄感により令和の米騒動が叫ばれている。令和7年3月に第二次丸森町農業振興ビジョンが策定され、農業産出額55億円を目指すとともに、町民が住み続けられる良好で活力ある農村づくりを進めるとしている。

要求において農地の大区画化推進が示されている。国の米増産への転換を好機と捉え、国や県に強く要望していく。

成に特化した専任組織を立ち上げ、一貫した支援を提供するワンストップ窓口を設置する計画である。

新規就農者支援策の充実と強化に取り組んでいく。



今年は頑張れます (大張地区 棚田)

## 一般質問

# 町政を問う

一般質問とは、町に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをただすものです。今回は11人の議員が質問しました。

ページ	議員	質問事項と回答
11	石井 央	●良好で活力ある農村に 町長 農地整備と新規就農進める
12	鈴木 美智子	●交通ネットワーク構築を 町長 持続可能な制度を検討する
13	渡辺 政巳	●町の地域性を活かすには 町長 インフラ整備を県に要望
14	船山 俊一	●福祉のまちづくりに向けて 町長 地域の意見も聴き進める
15	中津川 かおり	●地域防災力の強化は 町長 支援や育成を継続する
16	山本 明徳	●戦争体験の伝承を 教育長 後世に伝えていく
17	八巻 真由	●こどもの権利守り尊重を 町長 必要不可欠な私たちの責務
18	大槻 正儀	●生活道路の安全維持は 町長 速やかな対応をする
19	金森 裕之	●まちの魅力と人材確保策は 町長 関係人口を増やす
20	板橋 勇	●納税額3億円を目指せ 町長 新たな返礼品を開発
21	大槻 孝雄	●中心市街地の活性化は 町長 魅力的な街並み整備を行う





# 町の地域性を活かすには

## 町長 インフラ整備を県に要望



わたなべ まさみ 議員  
渡辺 政巳 議員



一般質問動画

**問①** 本町の自然環境、石碑、名所旧跡を活かしフットタウン丸森としてまちづくりを進めるべきと考える。ウォーキング、ハイキング、トレッキング、そしてオルレ等コース設定をし、歩くことに特化した取り組みを行うことが本町の地域性に合うかと思う町長に問う。

**答①** 町のキャッチフレーズである水とみどりの輝くまち丸森を町内外に広くPRし、町民の健康増進を図ることはもちろん、交流人口と関係人口の拡大、地域経済の活性化につなげていく。

**問②** 本町は養蚕の町として



圏域戦略を考える

生産量は宮城県一であった。養蚕の体験施設をつくり養蚕の町をPRすれば猫の石碑が話題となる。

養蚕の歴史を知るためにも養蚕体験施設をつくるべきと考えるがどうか。

**答②** 令和7年に不動尊クラインガルテンで開催された猫神祭の来場者が2日間で4800人であった。今後も事業をさらに継続し発展させ、本町の魅力を

楽しむ機会を提供できることから、養蚕の町をPRするための新たな体験施設を整備する考えはない。

**問③** 県道白石丸森線は角田市境整備まで14年が経過し、新道線までさらに15年がかかると思われる。どんな手法で整備を進めるのか。

また、小斎峠までの道幅二車線整備は企業誘致、観光客誘致、移住、定住の促

進の観点から欠かせない。整備状況はどうか。

**答③** 白石丸森線は、宮城県土木建築行政推進計画に基づく仙南地域の基幹的インフラ整備推進事業で行っている。引き続き県に強く働きかける。

大内芳ヶ沢から小斎峠までの二車線化整備は中断しており工事の実施に向けて事業の再開を強く要望する。

# 交通ネットワーク構築を

## 町長 持続可能な制度を検討する



すずき みちこ 議員  
鈴木美智子 議員



一般質問動画

町民の生活を支える地域公共交通ネットワークの構築と、在宅介護を支える取り組みについて町長に問う。

**問①** あし丸くんを買い物に利用しているが、荷物を持って家までの急な坂道を上るのは大変だ。料金を払ってもいいから家まで送ってほしいとの要望がある。

予約した方の家まで迎えに行く自治体もあるが、本町では家まで運行できないのか。

何らかの手段を講じる必要があるのではないか。



買い物にも重宝している あし丸くん

**答①** 特に山間部で狭い道や急な坂道が多く、車両の安全な停車や方向転換が難しい場合があり、乗降場所を自宅付近の安全な場所に設定している。

また、個々の玄関前までの乗り入れは、運行時間の遅延や運行回数の低下を招く可能性がある。

利用者の負担をなるべく少なくするため、乗降場所を見直し可能な範囲で自宅に近く安全な場所を設定できるように、運行事業者と協議を進める。

**問②** 令和6年3月議会では病院受診時のタクシーと介護タクシーの料金補助を提言したが、検討しているのか。

**答②** 高齢者が町外の医療機関の通院に、公共交通機関を利用した際の経済的負担軽減や、移動手段の利便性向上について話し合いを継続している。

通院手段の実態を調査し効率的で持続可能な制度の検討を進める。

**問③** 隣接自治体と連携して市外の通院にデマンドタクシーを運行している事例がある。本町も隣接市町と連携し、あし丸くんを町外に通院できるのではないかと。

**答③** デマンド交通の広域連携は、公共交通の持続可能性と地域活性化の一助になるが、自治体間での予約システムなどの課題と法規制の壁も想定される。情報収集に努め研究する。



# 地域防災力の強化は

## 町長 支援や育成を継続する



なか つか わ  
中津川かおり 議員



一般質問動画

**問①** 町内には29か所の指定避難所があるが、老朽化で修繕が必要な施設はあるか。また、修繕の必要がある場合、当該施設の修繕予定はあるか。

**答** 近年の気候変動や高齢化が進む本町の現状を踏まえ、指定避難所の整備や修繕について考える必要はないか。災害に強いまちづくりのために、自主防災組織や消防団の強化も重要であるが、災害時や危険性が高まったときの安全な避難所の確保や町民の自助共助意識の向上も重要であると考え、町長に問う。

**答①** 指定避難所は、日頃から施設管理者が点検を実施するとともに、災害時には施設の被害状況を確認したうえで、避難所として開設するようにしている。修繕が必要な場合には、早急に対応するように努めている。

**問②** 指定避難所のエアコンやスポットクーラーの導入は、設置されていない施設への整備を進める予定はあるか。夏場に35度を超す猛暑日が増加している近年の状況を踏まえ、どう考えているか。

**答②** 空調設備が設置されていない施設は10か所ある。その規模に見合う台数の確保や電気設備の増強など、事前に十分検討する必要がある。学校施設については交付金や補助金、町債の活用も含めて検討する。

**問③** 自助共助意識を高めるため、消防署が実施している普通救命講習などを消防団や行政区の代表、中学校



丸森中学校で開催された避難所設営訓練（令和7年度宮城県9.1総合防災訓練）

生が受講する機会を設けることはできないか。

**答③** 令和7年度は、丸森町女性防火防災クラブ連合会が、丸森と館矢間、大内の各地区で講習会を計画している。

# 福祉のまちづくりに向けて

## 町長 地域の意見も聴き進める



ふなやま しゅんいち  
船山 俊一 議員



一般質問動画

**問②** 健康寿命を延ばすための介護予防への取り組みは、最優先課題である。これから、高齢者の介護予防や健康づくりをどのように進めていくのか。

**答②** フレイル※予防に関しては、引き続き健診を行うとともに、各地区の通いの場等に出向き、予防教室を開催する。さらに各老人クラブの活動支援、シルバー人材センターとの連携による

り、高齢者の社会参加を促進させ、介護予防に努めていく。

**問③** 山間部や交通が不便な地域では、移動販売車導入等の対策が不可欠である。民間事業者や商店、直売所との連携、併せて国や県の補助制度等を活用し、早期に進めるべきではないか。

**答③** 買い物支援については、介護や福祉サービスと組み合わせることにより、町民生活の質の向上に向け支援をしている。



自治体の支援を受け、地域を巡回する移動販売車（相馬市）

※フレイルとは  
健康な状態と要介護状態の中間の段階を指し、心身のほかに社会的つながり等が弱くなること。

今後は、移動販売車の導入だけでなく、買い物拠点への移動手段の確保も含め、地域の意見等も聴取しながら検討を進める。また、新たな販売手法としての移動販売の実施に向けては、県の補助制度の活用も考慮するとともに、地域の課題解決に取り組んでいく。



# こどもの権利守り尊重を

## 町長 必要不可欠な私たちの責務



やまき まゆ 議員  
八巻 眞由



一般質問動画

**問①**国内では約25年前から、全てのこどもは、生まれながらに1人の人間として権利を持つ主体であること、こどもの権利条約を日本が批准してから31年。こどもの貧困や、自殺、いじめ、不登校、虐待などの社会問題は年々深刻化している中で、国はこども家庭庁の発足とともにこども基本法を施行し、こどもの人権を守り尊重することの重要性と指針を示している。地域のこどもたちを守る立場である自治体の責務に基づき、町長の所見を問う。



丸森で育つこどもたちに私たち大人ができることは

地方自治体でこどもの権利保障を図るための条例制定が進んでおり、現在は81自治体で制定されている。今後私たち大人が意識すべき共通理念として、丸森町こどもの権利条例の制定が必要ではないか。

**答①**こどもの権利を守り、幸せと健やかな成長に寄与することは私たちの責務であり、そのための取り組みは必要不可欠である。条例等を制定するのでは

なく、現在の施策を着実に実行しながら、こどもたちが権利を享受できる環境の整備を進める。

**問②**本町は数々の子育て支援事業に取り組んでいるが、その目的はどれも少子化対策として語られている。子育て支援の本来の目的はこどもが健全に育つことができる環境整備であり、最大の受益者はこどもである。子育て支援が、人口を増やすための手段とされてはいけない。

こどもの権利の観点から、本町のこども施策全体を見直し、その事業目的の再定義が必要ではないか。

**答②**本町の子育て支援は、こどもの主観的幸福感の向上を目標に掲げ推進しているが、同時に町全体の将来を見据えた戦略の一翼を担っているため、好循環を生む施策の展開に努める。

# 戦争体験の伝承を

## 教育長 後世に伝えていく



やまもと あきのり 議員  
山本 明德



一般質問動画

太平洋戦争終結から80年、また、広島と長崎に原爆が投下されてから80年目である。本町でも800人を超える戦没者がいる。戦争を体験した方も高齢で、年を経るごとに少なくなり、戦争体験の風化が懸念される。町は戦争体験と平和の大切さを次の世代に伝えていく役割があると考え、教育長に問う。

**問①**学校教育の中では、どのような場面で平和教育が行われているのか。

**答①**国語や社会の学習で、平和の大切さや平和な世界

**問②**各家庭に残されている戦争体験者の遺品や写真等は貴重な歴史的資料であり、町として収集保管しておくことが必要ではないか。

また、それらを平和学習の資料としてふるさと館に展示する企画展などを開催すれば、生涯学習に役立つのではないかと考えるがどうか。

**答②**貴重な歴史資料として保存への協力を呼びかけ、ふるさと館では集めたものを常設展示している。今後新たな資料の寄贈があった場合は、可能な範囲で展示に加えていく。

**問③**阿武隈急行線丸森駅西側の町道新道線と隈西線の山田地区交差点は見通しが悪く、これまで三度の事故があったと聞く。ヒヤリハット事例は、かなりの数

の実現に努めることの大切さを指導するとともに、図書館に戦争や平和に関する図書の充実を図っている。

に上ると思われる。安全確保対策をどうするのか。

**答③**町長地元から角田警察署に出された信号機設置の要望を受け、令和6年6月に関係者による現地調査を

行った。交通量が少なく設置基準に該当しないとの回答があったため、町では、区画線の引き直しと中央部の塗布、法面の枝の伐採をし安全を図っている。



戦争遺品は歴史的遺産（まるもりふるさと館）



# まちの魅力と人材確保策は

## 町長 関係人口を増やす



かなもり ひろゆき  
金森 裕之 議員



一般質問動画

問① 本町は国全体と同様に少子高齢化に伴う人材不足、担い手不足が進み、今後さらなる町の弱体化が非常に懸念される。町の魅力を再発見し、住む、働く、訪れる、関わるといった6次総合計画と併せ、移住や関係人口を増やすべきと考え町長に問う。

また、女性の働きやすい環境を整備することで、近隣からの雇用を創出できると思う。町内の企業との連携を図り、積極的に募集すべきではないか。

答① 県や関係機関と連携し、ワンストップ窓口を設置して誘致活動をしてきた。これまで9社からの問合せに対応してきたが、具体的な交渉に至っていない。若い働き手の確保に向け、企業と連携、協力していく。

問② 政府の重要施策である地方創生2.0では、二地域居住や関係人口の拡大を掲げている。町としても新たな取組みを進めるべきではないか。

答② 近年は、地域住民と移住者が地域づくりに関わり、活力をもたらす存在になっている。持続可能なまちづくりは重要な課題であり、機会の創出や受け入れ体制の整備に支援していく。



まちの魅力を発信し、関係人口の拡大を図るイベント（町主催のウォークラリー大会）

問③ 道路愛護会の参加者が高齢化により存続の危機となっている地区がある。労力の軽減、時間短縮を図るため、地元企業や農畜産家に除草機械などで除草作業

を委託してはどうか。

答③ 新たな費用が発生することから慎重に判断する。今後、効果的な対応策を協議し検討を進める。

# 生活道路の安全維持は

## 町長 速やかな対応をする



おおつき まさよし  
大槻 正儀 議員



一般質問動画

道路は国道や町道農林道を問わず、日常生活や経済活動に不可欠な社会資本であり、住民は安全な道路維持を行政に求めている。道路の維持補修と道路環境の改善について町長の考えを問う。

問① 国道349号館矢間地区の小原瀬、小巻地内の舗装は損壊がひどく、雨天晴天に関わらず、極めて危険である。早急な修繕が必要と考えるが、町はどのような対応をしているのか。

答① この区間は、その都度修繕が実施されているが、既に全面的な舗装打ち替え

を要望している。

問② 生活道路の全面改良は住民皆が切望するところであるが、完成に長期間を要することが常態化している。安全確保のためにも部分改良方式も必要ではないか。

答② 全面改良は長期の期間を要するうえに、東日本台風災害対応のため、中断した経緯があり、さらに時間を要している。今後は改良路線数の状況等を踏まえながら検討したい。

問③ 戸数が現実に減少している集落道路は修繕等維持管理作業を速やかに行い、改良については現状維持の理解を求める必要があるのではないか。

答③ 補修については住民からの通報や、職員が発見した都度、状況に応じて実施している。今後も速やかな対応に努める。

問④ 令和7年3月、道路整備計画の見直しは地元との



道路は維持管理が大切（館矢間小原瀬西地内）

十分な協議を行うよう、町長に要望した。道路行政に対する理解を深めるためにも、必要と思うかどうか。

答④ 現計画の詳細な内容確認と優先順位を、限られた予算の中で必要性や重要性

を踏まえ検討を進め、パブリックコメントを行う。今後の道路維持管理については、道路愛護団体と住民自治組織を交えた協議をしたいと考えている。



# 中心市街地の活性化は

## 町長 魅力的な街並み整備を行う



おおつき たかお 大槻 孝雄 議員



一般質問動画

全国で中心市街地の空洞化が叫ばれている。本町では令和6年、斎理屋敷を改修しオープンした。約19億3500万円を投じ、令和8年、八雄館が建て替えオープン、令和9年、MIZBEステーションもオープン予定である。中心市街地の活性化と観光交流について町長に問う。

**問①** 令和14年観光客入込数80万人、観光消費額80億円と目標を示しているが実現性と決意は。

**答①** 新たに整備するMIZBEステーションから、観光客を中心部や各観光施設

**問②** 中心市街地には空き家がある。観光客に好まれる景観整備をどのように進めていくのか。

**答②** 5軒の空き物件がある。道路の無電柱化やカラー舗装などの景観整備と、空き物件の利活用を一体的に進めていく。

**問③** 現在の観光案内所が水防センターに移設される。スクールバスプールを町西仮設住宅跡地に移し、町営駐車場にしてはどうか。

**答③** 観光案内所跡地の駐車場利用は可能と考えるが、バスプールの移設は考えていない。

**問④** 由緒ある神明社周辺を整備し、百々石公園と市街地を結ぶオルレコースとし、進めてはどうか。



オープンが待たれる建て替え中の八雄館

**答④** 中心市街地や神明社、見晴らし花壇など、百々石公園を結ぶ魅力はオルレコースになる。検討し進めていく。

**問⑤** 中心市街地の空き店舗に入居できるよう、新たな支援策や補助金の引き上げが必要ではないか。

**答⑤** 改装施工は最大150万円、起業チャレンジに50万円の補助がある。状況を注視し、適正に対応したい。

# 納税額 3 億円を目指せ

## 町長 新たな返礼品を開発



いたばし いさむ 板橋 勇 議員



一般質問動画

**問①** 令和6年度のふるさと納税は全国で1兆2728億円を超えた。丸森町は県内35自治体中27位で8664万円である。

丸森町の米や乳製品の新たな開発や特産品のタケノコ等を返礼品とすることで、納税額3億円を目標に頑張る決意は。

**答①** 宮城県では、県と県内自治体の合計金額は326億4800万円であったが、本町は前年度比約5割減少した。

今年度は返礼品の種類を増やす新たな取り組みとして、町を訪れた方が宿泊施設や飲食店を利用する際に、

その場で寄附し、その場で寄附額に応じたクーポンを使用できる現地決済型の導入に向けた準備を進めている。また、最近注目度の高い米についても、返礼品として提供できるように開発を行っている。

これまでの町の最高額である1億7000万円を当面の寄附額の目標としながらも今後は2億円、3億円と拡大を目指していく。

**問②** 令和6年7月に造成した金山工場団地への企業誘致活動の経過は。

また、団地の草刈り作業は町が早く行うべきだ。

**答②** 先日東京で開催された、宮城県主導による企業立地セミナーでも積極的に誘致

活動を行ってきた。また、敷地面積や土地価格、建設費用等問い合わせがあった場合は新たな支援策等も検討をする。

団地の除草作業は今後は早めに対応し、町の熱意が伝わるように適切な管理に努める。



米で本格参入 8 トン予約済



議員の会議出席状況と採決状況

令和7年7月～9月30日

○：出席 ×：欠席 △：遅刻・早退 -：員外

月	日	公務名 ※丸森町議会及び宮城県議長会、仙南議長会が主催している会議や研修等を抜粋しています。 ※会議名等は略称を使用しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			八巻 眞由	中津川 かり	大槻 孝雄	金森 裕之	山本 明徳	鈴木 美智子	大槻 正儀	渡辺 政巳	菊池 修一	石井 央	海川 正則	板橋 勇	船山 俊一	佐藤 吉市
7	2	明日の丸森を考える丸森中学校模擬議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	議会広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	3	町村議会議員講座（宮城県自治会館）第1回	○	-	-	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	×
	4	町村議会議員講座（宮城県自治会館）第2回	○	○	○	-	○	×	-	-	-	-	-	-	-	-
	9	議会広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	10	仙南・亶理地方町議会常任委員長研修会（7/10～7/11）	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	○	○
	18	全員協議会	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
8	18	第5回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	議会広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	宮城県町村議会議員セミナー（利府町文化交流センター）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	22	産建教育常任委員会（所管事務調査）	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-
	26	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26	議会運営委員会	-	-	-	○	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○
	27	総務民生常任委員会（所管事務調査）	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	○	-	-
9	28	町村議会広報研修会（東京・渋谷公会堂）	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	議会広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	第6回議会定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	産建教育常任委員会（請願の審査）	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-
	5	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	8		○	○	○	○	○	○	○	○	-	△	○	○	○	-
	9		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	-
	10		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	11		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	12		○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-
	8	産建教育常任委員会（請願の審査）	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-
	9	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	10	産建教育常任委員会（請願の審査）	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-
	12	産建教育常任委員会（請願の審査）	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-
	12	産建教育常任委員会（所管事務調査まとめ）	-	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-
	12	総務民生常任委員会（所管事務調査まとめ）	○	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	○	-	-
	16	議会運営委員会	-	-	-	○	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○
	16	丸森町議会改革等調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	24	議会広報常任委員会	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	26	第5回除染廃棄物仮置場等に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	-
採決		令和6年度丸森町一般会計歳入歳出決算の認定	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	-
		旧和田分校区児童生徒の通学状況改善を求める請願書	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	-

○：賛成 ×：反対

議会懇談会での  
民意はどうなったのか

令和7年5月の懇談会での質問等について会場で回答できなかったものを確認・調査した結果を報告します。

所管  
総務民生常任委員会

〔病院の通院料金補助を〕

問 丸森病院から紹介された病院に通院する際のタクシー料金が高額になるので、料金の補助を考えてほしい。  
答 通院のための交通費補助を現在検討中である。

〔副行政運営推進委員研修は〕

問 行政運営推進委員の研修は公費扱いだが、副行政運営推進委員が公費でないのはなぜか。公費を認めてほしい。  
答 行政運営推進委員を対象とした研修は、行政運営推進委員の役割で参加しているので公費となっている。副行政運営推進委員は役割が異なるため公費にはできない。

〔避難場所の整備を〕

問 災害時の避難場所は地域住民の安心安全のためにも、雨漏りを修繕する等の整備をお願いしたい。  
答 施設に不具合があった場合は施設管理者に伝えてもらいたい。施設管理者から町に連絡してもらい、整備する。

〔空き校舎利活用の財源は〕

問 空き校舎の利活用で、旧耕野小学校の改修工事にかかる財源は。  
答 総額3億5849万円のうち、国交付金が1億5054万円で町債が2億790万円、一般財源から5万円である。



災害時には安心して避難できる場所を（筆甫まちづくりセンター）

所管  
産建教育常任委員会

〔神明北住宅の駐車場は〕

問 神明北住宅で1世帯に1台の駐車場しかないのに、2、3台所有している世帯は他者の駐車場に停める等の問題が起きている。  
答 空き地などを駐車場として使えるようにしてほしい。

問 世帯で所有している台数の申請に応じた駐車場となっている。車の台数が増えた場合は町に相談してもいい。

〔納税組合存続の支援を〕

問 納税組合の役割は代理収納だけではなく、集落の維持の意味もある。  
答 納税組合の支援を強化してほしい。  
問 議会として令和6年度決算でも、まちづくりへの要望として取り上げており、存続について町に提言していく。



# 委員会活動レポート

議会には、3つの常任委員会（総務民生・産建教育・議会広報）と議会運営委員会があります。今回は、議会広報常任委員会が参加した研修について報告します。

8月28日

町村議会広報研修会  
LINE CUBE SHIBUYA  
(東京 渋谷公会堂)



全国から約900人集結した研修会

## 議会広報常任委員会

**進化できる議会広報**  
今回の研修会では、インターネット記事作成のコツ、動画を使った効果的な情報発信の方法、議会改革と連動した広報紙づくりの事例の3テーマで学んだ。  
全国的には議員個人が動画を使いSNS等で情報発信する例も増えていくが、議会として議員それぞれが動画を撮影発信して見える化を図ったり、  
議会広報を動画で紹介している自治体の事例紹介もあった。  
福岡県大刀洗町議会では、20年かけて議会改革と共に議会広報のあるべき姿を模索してきたそうである。  
本町でもこれから議会改革が始まる。私たちの議会だよりがどうあるべきか考え、改良と挑戦を続けたい。

八巻 眞由 委員

### 次の議会は

**12月10日(水) 午前10時**  
開会予定

●日程が変更になる場合があります

問い合わせ先 議会事務局  
☎0224-72-3038



### スマホで議会が見られます

本会議の映像をネットで  
**ライブ中継**しています

●一般質問は過去の録画映像を常に視聴できます



### 議会だよりの表紙の写真を募集します

#### 【募集要項】

対象者：丸森町に住んでいる方  
被写体：丸森町内の風景やイベント等で議会だより発行時期に合ったもので人物が写っているもの  
＊必ず被写体の議会だよりへの掲載許可を得て下さい  
時期：令和8年2月1日発行の議会だより  
締め切り：令和8年1月5日(月) 17時まで

#### 【応募方法等】

投稿先：gikai@town.marumori.miyagi.jp  
＊写真はウイルスチェックのうえ、丸森町議会事務局にデータで提出してください(Jpeg形式で800万画素以上)  
＊投稿者の住所、氏名、電話番号、顔写真、写真の説明(120字程度)  
＊採用の場合のみ連絡させていただきます  
＊ご不明な点は議会事務局までメールにてお問い合わせ願います

# 所管事務調査

決算に関して所管する課から聞き取りや現地調査を行いました



先生の話真剣に聞く子どもたち

**総務民生常任委員会**  
会では5課について10項目の説明聴取及び現地調査を行った。  
悪犯罪や自然災害から園児を守るため、丸森たんぽぽこども園の防災、防犯対策について現地でも聞き取り調査を行った。  
先生方からは、台風災害から学んだことや、園児の身を不審者からどう守るか実演を交えながら教えて頂いた。男性職員の方の少なさを感じたが、引き続きまちの宝である子どもたちを見守って頂きたい。

#### この調査に注目

◆子育て定住推進課  
こども園の防災、防犯対策について

◆委員長コメント  
「園児のあらゆる危機に対応を」  
子どもを狙った凶

## 総務民生常任委員会

- ・総務課
- ・企画財政課
- ・町民税務課
- ・保健福祉課
- ・子育て定住推進課
- ・会計室
- ・丸森病院
- ・選挙管理委員会
- ・監査委員
- ・固定資産評価審査委員会



築50年に迫る学校給食センター

**産建教育常任委員会**  
会では4課について8項目の説明聴取及び現地調査を行った。  
老朽化している建物ではあるが衛生管理を徹底し、引き続き子どもたちに安全でおいしい給食を提供してほしい。  
た。衛生面から内部を見られなかったのは残念だったが、老朽化と児童生徒数の減少傾向により、広域で行うか、何か施設と組み合わせるかで検討は、替えるかの検討はある。

#### この調査に注目

◆学校教育課  
学校給食センター施設の管理と運営状況について

◆委員長コメント  
「安心安全な給食を」  
給食センターは以前から老朽化が指摘されていた。  
議会懇談会でも意見が出ており調査し

## 産建教育常任委員会

- ・農林課
- ・商工観光課
- ・建設課
- ・教育委員会  
学校教育課  
生涯学習課
- ・農業委員会





## 伝統ある家業を受け継ぎ

### 日々格闘

丸森地区

石材店経営  
菅野 長嗣さん

開業して115年目を迎える石材店。5代目として家業を受け継いだ決意や、丸森夢太鼓のメンバーとして活躍している息子さんの事などお話を伺いました。

Q 家業である石材店を受け継いだ理由を伺います。

A 私は次男なので家業を継ぐ気持ちは全くなく、埼玉県にある大学を卒業後は他県で就職し、丸森に戻って来るつもりはありませんでした。家業を継ぐきっかけは、東日本大震災の発生により、墓石関係の仕事が増え、父から忙しいから一緒にやってくれないかと言われたからです。

Q 仕事の内容をお聞かせください。  
A 墓石の販売や加工、石材卸などをしていきますが、最近では墓じまいをする方が多く、撤去作業が増えてい

ます。繊細な作業であり、安全面でも細心の注意を払うのでとても大変な仕事です。

Q 丸森夢太鼓に参加するきっかけや、活動内容について伺います。

A 旅太鼓の演奏を見た息子が興味を持ち、体験教室で太鼓を習い始めたのがきっかけです。

その後、丸森夢太鼓が結成され、今ではメンバー全員が全国大会へ出場するまでに成長しました。

Q 議会や町に対して、要望や意見はありますか。

A 町民が本心に今望んでいることを理解して頂き、現状に見合った政策を進めてもらいたいです。

(金森 裕之 委員)

## ひとことインタビュー



丸森地区 木皿 芙美さん  
千晃さん

地域の皆さんも優しく、丸森の豊かな自然でのびのび遊ぶことができています。デザートを混ぜて作るのが楽しかった。(千晃さん)



丸森地区 穴戸 明日香さん  
詩さん

丸森は支援が充実していると思います。室内遊び場ができたら嬉しいです。マルモリサンバの光る靴が可愛かった。(詩さん)

## 表紙のこぼ

丸森たんぽぽこども園で子どもたちと保護者が一緒にカレーライスとデザートをつくる夏野菜カレークッキングが行われました。

園で育てたナスやズッキーニなどの夏野菜をたっぷり使ったカレーライスに子どもたちは大喜び。たくさんおかわりをして、ピカピカに完食しました。

参加した保護者の方からは「みんな目を輝かせながら真剣に作業して、おいしそうに食べていたのが印象的でした」という感想も。

ごはんの後は、みんなで元気いっぱいマルモリサンバを歌って踊りました。

子どもたちの可愛い笑顔がいっぱいの1日でした。

(八巻 眞由 委員)

## 議会広報常任委員会

委員長	鈴木美智子
副委員長	山本 明徳
委員	八巻 眞由
	中津川 かり
	大槻 孝雄
	金森 裕之